

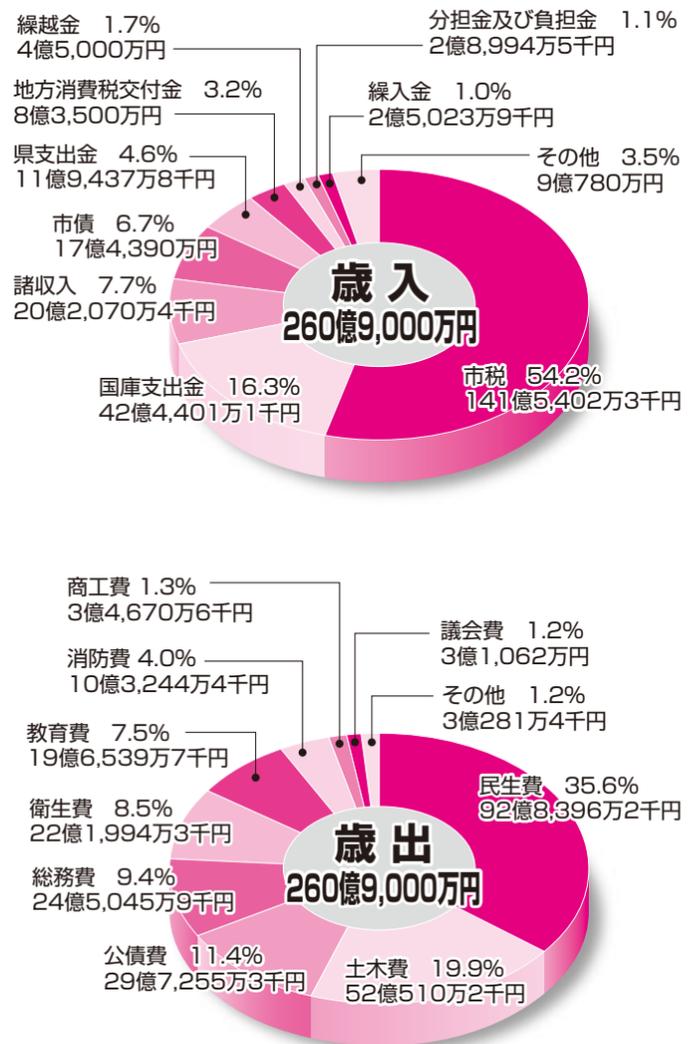
平成23年度当初予算の概要

平成23年度会計別予算総括表

(単位:千円、%)

会計区分	年度	平成23年度 予算額A	平成22年度 予算額B	対前年度比	
				増減額 C(A-B)	増減率 C/B×100
一般会計		26,090,000	25,380,000	710,000	2.8
特別会計	国民健康保険	9,146,893	8,862,856	284,037	3.2
	公共下水道	4,547,000	3,527,000	1,020,000	28.9
	稲荷伊草第二 土地区画整理	113,946	61,446	52,500	85.4
	鶴ヶ曽根・二丁目 土地区画整理	68,299	94,549	△26,250	△27.8
	大瀬古新田土地区画整理	729,199	460,149	269,050	58.5
	西袋上馬場土地区画整理	826,133	455,033	371,100	81.6
	南部東一体型特定 土地区画整理	1,540,000	1,600,000	△60,000	△3.8
	介護保険	3,703,088	3,239,091	463,997	14.3
	後期高齢者医療	487,770	474,312	13,458	2.8
	老人保健	0	3,951	△3,951	皆減
	小計	21,162,328	18,778,387	2,383,941	12.7
	上水道事業会計(企業会計)		3,003,333	3,048,982	△45,649
合計		50,255,661	47,207,369	3,048,292	6.5

平成23年度一般会計予算内訳



平成23年度八潮市一般会計予算について、 討論の概要をお知らせいたします。

反対討論(日本共産党)

平成23年度予算は個人市民税に係る総所得が前年度比2億3700万円減額となっています。法人市民税の現年分では、前年度比8%増が見込まれていますが、業種別の様子を見ますと、第3次産業では36%増である反面、製造業では、これとは逆に19%のマイナスとなっています。リーマンショックに端を発した世界同時不況以来の経済対策が大企業を中心に功を奏してきたと言われますが、市内製造業では依然として厳しい環境の中にあると言えます。このような中で、都市計画税が0・25%引き上げられます。市民生活の困難さが見える時、残念なことと言わなければなりません。

歳出については、先に触れたように市民生活が大変な時です。市民生活応援の市政運営を求めたいと思います。障がい者福祉施設が自立支援法による運営と指定管理者制度導入の初年度となります。障がい者の地域での安心生活のために相談体制の充実が求められます。産業経済振興基本計画の見直しは、官公需の市内業者優先選定を位置づけるなど市内の活性化につながる体制をつくることが重要と思われま

す。市制40周年事業費は簡素なリフォーム助成制度に関わる予算計上の早期実施が求められます。市制40周年事業費は簡素な

賛成討論(自民クラブ)

本市の平成23年度一般会計予算を見ますと、歳入・歳出予算総額260億9000万円の前年度比2・8%の増となります。歳入では、個人市民税は景気低迷等を考え減額が見込まれますが、都市計画税は税率改定により増額が見込まれ、市税全体で前年度比1・3%増となります。また、子ども手当や生活保護に係る財源などを見込み、国庫支出金では前年度比10・8%増、県支出金では前年度比8・1%増となります。さらに、地方交付税や繰入金、市債等についても今後の景気動向等を見据

え、適正かつ的確に財源の確保に取り組んでいるものと考えられます。

歳出では、都市基盤整備関係における駅周辺の顔づくり事業で、魅力ある中心核の形成を図るためのまちづくりに計画的に取り組む、土地区画整理事業や都市計画道路網構想の見直しに係る経費等を計上し、快適な都市基盤の整備に取り組んでいる姿勢がうかがえます。生活環境関係では、葛西用水親水化整備の経費など、公園の整備改修や市民参加による自然環境調査に係る費用も計上され、生活環境に配慮した取り組みが見られます。福祉関係では、児童保育所の開所時間の拡大、救急医療情報システムの配布や子宮頸がんワクチン予防接種の実施に係る経費も計上され、思いやりのあるまちづくりに向け取り組んでいます。産業振興関係では、雇用促進を図るため、緊急雇用創出事業に係る経費や中小企業への資金融資の拡充に係る経費、また、観光振興事業に係る経費も計上されております。教育関係では、小中学校の耐震補強・大規模改修事業はもとより、小中一貫教育の教育課程のより一層の充実のための経費も計上されております。

以上のことから、財政運営は大変厳しいものですが、市民サービスの向上のため、今後も健全な行政運営を期待いたしまして、賛成の討論といたします。

なお、同議案につきまして、民主・市民クラブからも賛成討論がありました。